

「子どもたちの未来のために 今、できることを」

山梨県南アルプス市
南アルプス市社会福祉協議会

南アルプス市では、平成28年度より協議体に着手し、今年で8年目を向かえています。協議体設立当初は、介護保険法改正を受けて高齢者の生活の質を高める活動がメインで行われていました。しかし、話し合いや活動を続けていくうちに、『つながりや支え合い』は高齢者だけの問題ではないことに気づき、最近では子どもたちのことを考えた活動も始まりつつあります。また、このような素晴らしい住民主体の取り組みを5年後も10年後も続けていきたいと考えており、今の取り組みが子どもたちが大人になった時にも何らかの形でつながっていることが大事なんだと考え、ポスターを作成してみました。戦前は、ユイやモヤイ、講で人々は支え合ってきました。時代が進み、人々の暮らしはつながらなくても暮らしていける世の中になった今だからこそ協議体を通して人々が支え合い、助け合う仕組みをつくることができ、それを後世につないでいくことが私たちの役割だと考えます。「子どもたちの未来のために 今できることを」協議体が行う一つひとつの活動を大切に、住民のみなさんと共に社協も地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。

